



東住吉区
社会福祉協議会
公式キャラクター
ラヴィリー

東住吉区 社協だより

令和3年
冬号



発行 / 社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会

〒546-0031 大阪市東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター内 ☎(06)6622-6611 〆(06)6622-8973

社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会は 創立70年を迎えます

東住吉区社会福祉協議会は、昭和26年1月29日の創立。平成元年には「東住吉区ボランティア・ビューロー」を開設。この年、社会福祉法人格を取得、翌年3月には記念式典を開催しました。平成6年には東住吉区在宅サービスセンター「さわやかセンター」を開所。現在に至っています。

ごあいさつ

東住吉区社会福祉協議会は、昭和26年に創立され、本年70周年を迎えることとなりました。

この歴史を歩んでこられたのも、区民の皆さま方とともに東住吉区役所、大阪市、大阪市社会福祉協議会、関係機関・団体、関係者・諸先輩方のご尽力の賜物と厚くお礼申し上げます。

この間、急速な少子高齢化の進行とともに、8050問題や制度の谷間にある方への支援など、多様化する福祉ニーズへの対応を推進してきました。

引き続き、社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、地域住民や地域の多様な機関・団体が参画し、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」実現を目指してまいります。

本来であれば、一堂に会し、地域福祉推進にご尽力いただきました皆さまの顕彰及び、記念講演会の場をご用意するところですが、ご存じのとおり現在のコロナ禍では、大人数でのセレモニー開催について、自粛せざるを得ない状況と判断しています。

記念事業につきましては、改めてご案内させていただきますので、ご了承賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人大阪市東住吉区社会福祉協議会
会長 川本 公夫



- ①地域福祉アクションプラン 2009年6月
- ②さわやかまつり 2014年11月
- ③認知症サポーター養成講座 2015年11月
- ④おもちゃドクター養成講座 2018年6月
- ⑤区民フェスティバル 2018年10月

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 「外出自粛高齢者・障がい者等 見守り支援事業」の取り組み

11月4日(水)に「外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業」の一環として、地域の見守りネットワーク強化学業の対象で、見守り活動に同意された障がい者1,366人に、区内で障がい者の皆様への相談支援にあたっている、区社協見守り相談室・区障がい者基幹相談支援センター(ナビ)・地域活動支援センター(もくれん)のパンフレットとマスク(5枚パック)をお送りしました。事業実施にあたっては、見守り相談室を中心に、障がい者の相談支援機関と連携し、送付対象や送付物について検討してきました。

また、送付物の同梱作業には、日頃から区社協事業にご支援いただいているボランティアさんも参加してくださいました。ありがとうございました。

届いた方からは、「悩みごと等、相談する場所がわからなかったのが良かったです。」「作業所へ通っているため、マスクはとても嬉しいです。」等の感想をいただきました。



東日本大震災10年を迎えて

2011年3月11日、東日本大震災が発生。未曾有の大災害は、関連死を含めて全国で約1万9600人の尊い命を奪い、2528人は行方不明のままとなっています。人々の暮らしが奪われたあの日から、この3月で10年を迎えます。

被災された皆様の心の傷は深く、地域の復興・生活の再建は、まだまだ途上にあります。私たちは、地域に寄り添う団体として、被災地を記憶に留め続けたいと思います。



仙台市沿岸部 2011年5月上旬